

あなたなら きっと できる！

Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第13号 令和2年2月14日発行

PTA 施設見学会に行ってきました！！



2月6日(木)15名の保護者と筑波技術大学(技大)の見学をしてきました。毎年11月頃、高等部の1年生は見学&体験授業に行っています。今回は学生の試験期間ということで授業は見学できませんでしたが、それぞれの学科・コースの教授が丁寧に授業の説明をしてくださいました。

技大の特色は、充実した情報保障と学生生活を支える施設・設備、また海外研修等も積極的に行っていることです。個別の支援についても、学生3人に対し教員が1名と、他の大学にはないくらいの手厚い支援体制が魅力です。教職課程もあり、高等学校や中学校の数学や情報の免許が取得できます。なんと、パンフレットには、本校の中学部で数学を教えている永井先生が掲載されていました。

就職に向けた支援では、技大が主催する企業向け説明会は学生の数を超える企業がくるそうですが、学生にはまず自由応募(自分で企業を開拓し、応募する方法)を進めているそうです。大学から勧められた企業を受験する場合、深く考えることなく試験を受け、内定を頂き、就職した後、壁にぶつかった時簡単にやめてしまう学生が多いということです。逆に、自分が就職活動をし、開拓した企業の試験を受けた場合は、長く続くという経験から、自由応募を進めているということを知り、就職活動は受け身ではなく、自分からどれだけ動いたかということが大事であると感じました。



最後に、本校の卒業生である産業技術学部4年生の岩下さんから、学生生活や就職活動の話をお聞きしました。学生生活で大変だったことは、親元を離れた生活だったので、自己管理をすることということでした。将来、自立することを視野に入れ、自分でできる・動ける力をつけることが大切ですね。

◆情報保障について◆

手話通訳や字幕を提供する遠隔地字幕提示システムのスタジオを見学しました。学外で研究発表等を行う際、専門用語が多すぎるため、一般の手話通訳士には難しいことがあります。その際、このスタジオが活躍します。



また、通常の授業においても、手話の分からない講師に代わり手話による通訳、リアルタイム字幕システムを用いた文字通訳等も行っています。また、情報保障の効果的な方法も日々研究し、検証しています。

学内はコミュニケーションが取りやすく、眺めの良い空間になっていました。これは、緊急時の視覚的な状況把握や迅速な誘導にも繋がるようです。エレベーターも内部が見えるようにガラス窓付き、研究室や教室もガラス窓付きドアになって、中と外の状況がすぐに分かるようになっていました。チャイムを知らせるランプやテレビがいたる所に設置され、広報番組や緊急の連絡等に使用されます。あらゆるところに配慮のある施設・設備だと感じました。

◆寄宿舍について◆

日本全国から学生が集まってくるので寄宿舍が完備されています。各棟の入口には防犯カメラが設置しており、入居者はカードキーで開錠、セキュリティは万全です。居室は簡単な調理機器と冷蔵庫、エアコン、収納家具が完備された快適な空間。来客者があると、フラッシュライトで知らせ、来客者に対しては入口にあるモニターに要件を字幕で表示して伝えます。



お風呂は共同ですが、カランの数も多く、浴槽も広くゆったりとしていました。アルバイトをしている学生も多く、学生からの要望で、今年の4月から浴室利用時間も23時までと今までよりも1時間長くなるそうです。

共用棟の1階の談話コーナーには、郵便物や大学からの手紙を配布するためのメールボックスがあります。また、休日や夜間には警備員が待機しているため、緊急の対応も可能です。